

20170910 「ヤコブの旅」

目標： 神は目に見えなくても常に共にいることと、その方が必ず私達の人生を導いて下さることを知る。

聖書箇所：創世記28：1-22 時間：10分

暗誦聖句：「わたしはあなたと共にいて、あなたがどこに行くにもあなたを守り、あなたをこの地に連れ帰るのである」（創世記28章15節）

道具： ホワイトボード、ペン

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点： 前回扱ったところの続きなのだが、先週当教会は合同礼拝で一週空いている。前回の確認を始めに行い、本地の内容を進めていく。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>前回のお話を覚えていますか。</p> <p>今日は、その後のお話です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れた。 ・ ヤコブがエサウから神様の祝福を奪ってしまった。 	<p>前時の確認。母子ベカに言われてエサウをだましたヤコブの話である。ヤコブが兄にひどいことをしたと確認する。説明できる子供がいれば、積極的に発言させたい。</p>
課題探究	6分	<p>ヤコブはその後どうしたと思いますか。</p> <p>だまされたはずの父イサクはヤコブに、妻リベカの兄ラバンの所へ行き、そこで妻をめとり、祝福を受けて帰ってくるよう命じました。ヤコブは出発し、荒涼とした礫漠（れきばく）を何日も歩いていきました。</p> <p>あなただったらどんな気持ちになりますか。</p> <p>石を枕に横になったヤコブは、夢を見ました。</p> <p>主なる神様が、そして土地と、たくさんの子孫と、必ずもう一度親の元へ連れ戻すと約束されたのです。</p> <p>ヤコブは目覚めてどう思ったのでしょうか。</p> <p>神の臨在と約束に、ヤコブの不安は拭い去られ、立ち上がることが出来たのです。みんなもこれからどうなるんだろうかと不安に感じることはあるだろうと思うのです。でも、神様はヤコブさんを、絶対に見捨てないと約束したのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 逃げた。 ・ 寂しい。 ・ 不安 ・ 戻りたい 	<p>それぞれ自分だったらどうするか聞いた後で、聖書の記述を述べる。</p> <p>事件以前の老いたイサクと雰囲気異なっていることを感じさせるよう努める。イサクがアブラハム以来の神の約束に立ち返ったことが推察されるからである。</p> <p>ヤコブがそれまで両親の元を一度も離れたことが無いことを付言すると、なおヤコブの気持ちが見えてくるだろう。</p> <p>天からはしごがヤコブのところ降りてきていて、天使たちがそれを行き来している夢である。情景をヤコブの気持ちになって説明したい。</p> <p>約束した項目を箇条書きで板書する。</p> <p>質問しながら、約束された上記項目の趣旨を板書する。神の守り、嗣業を受け継ぐ、救い主の約束の維持、親との再会、などである。</p> <p>石を建てて記念とし、財の十分の一を献げる約束をしたことにも触れられたら触れる。</p> <p>ヤコブの場合には不安に加え、自分が招いた窮地という側面もある。そういうことが含まれていてなお神は見捨てないのである。</p>
まとめ	2分	<p>神様が私達を見捨てない証拠の石は、イエス様です。このイエス様という石を見つめ続けていく人の一生を、神様は必ず祝福して、良い実りを与えて下さるのです。</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。</p>